

VMware vSphere with Operations Management

概要

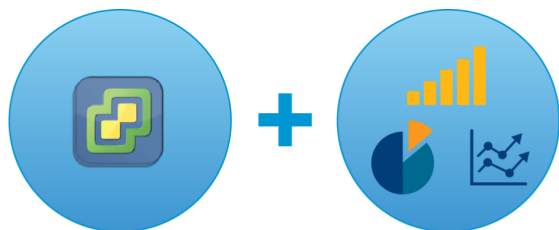
業界をリードするプラットフォームによる仮想化

仮想化は、コスト負担の大きいインフラストラクチャの無秩序な拡張を防止します。仮想環境を拡大するには、信頼性に優れた仮想化プラットフォームを選択することが重要です。そのプラットフォームで、システムを停止させずに、ビジネス クリティカルなアプリケーションの実行、アプリケーションのスケール アップおよびスケール アウト、ハードウェア投資における投資回収率 (ROI) の最大化、およびパフォーマンスの向上を実現する必要があります。

一貫した管理機能を備えた仮想化テクノロジーにより、多様なビジネス ニーズを満たすことができ、導入したその日から、インフラストラクチャとアプリケーションで最高レベルのパフォーマンス、可用性、効率性を実現するように設計されています。

主なメリット

- IT インフラストラクチャの管理コストを 53 % 削減
- 最重要アプリケーションのダウンタイムを 54 % 短縮
- 1年間で投資回収率 (ROI) を 2.4 倍向上
- 視認性、可用性、キャパシティ使用率、IT に対するユーザーの満足度を 30 % 向上



業界をリードする
仮想化プラットフォーム

使いやすい統合
運用管理機能

データセンターの一貫した運用管理を実現する、業界トップクラスの最も信頼されている仮想化プラットフォーム

vSphere with Operations Management について

VMware vSphere with Operations Management は、詳細な情報と優れた IT サービスを提供することで、多様なビジネス ニーズを満たすように設計されています。高い可用性、包括的かつ一元的な視認性により、アプリケーションからストレージまでをインテリジェントに運用することで、パフォーマンスを高め、システムの中断を回避します。また、ワークロードの配置とリソースの最適化を条件に従って安全に自動化することで、ビジネス上の重要タスクにより多くの時間を費やすことができるほか、事前に設定されたカスタマイズ可能なテンプレートを使用して制御を強化することも可能です。

vSphere with Operations Management の主な機能は次のとおりです。

- **強力なサーバ仮想化**：x86 サーバリソースを仮想化して論理プールに統合し、複数のワークロードに割り当てます。
- **効率的なストレージ**：バックエンドストレージシステムの複雑さが排除されるため、仮想環境でストレージを効率的に使用できます。
- **高可用性**：計画外のダウンタイムを削減し、サーバおよびストレージのメンテナンスのための計画的ダウンタイムを排除することによって、仮想化インフラストラクチャ全体の連続稼働時間を最大にします。
- **ネットワーク サービス**：仮想環境に最適化されたネットワーク サービスを提供するとともに、管理と運用を簡素化します。
- **プラットフォームの自動化**：vSphere の正確で繰り返し利用可能なソリューションにより、定常作業を効率化することで、運用コストを削減し、エラーを最小に抑制します。
- **堅牢なセキュリティ**：業界で最もセキュアな「ベアメタル」仮想化プラットフォームによって、データとアプリケーションを保護します。
- **一貫した管理**：使いやすい統合管理ツールにより、仮想データセンターのメリットを最大化できます。
- **インテリジェントな運用**：お客様独自の環境に対応できるインテリジェントな運用管理により、タイムリーでプロアクティブなアクションにつながる情報収集が可能です。
- **運用の自動化**：ガイド付き修正機能やカスタマイズ可能なアクションによって安全にインフラストラクチャの管理を自動化しながら、管理性も維持できます。
- **インテリジェントなワークロード管理**：ワークロード バランスのプランニング機能がワークロードの最適な配置を推奨し、クラスター間でワークロードを調整します。
- **クラウド API との連携**：クラウド環境の利用方法を選択できます。

エディション	Standard	Enterprise	Enterprise Plus
概要	サーバ統合、ビジネス継続性、 および一貫した運用管理	リソースのロード バランシング および一貫した運用管理	一貫した運用管理による、 アプリケーションの可用性 およびパフォーマンスの強化
製品コンポーネント			
ライセンス権限	1 CPU 単位	1 CPU 単位	1 CPU 単位
vSphere のエディション	Standard	Enterprise	Enterprise Plus
vRealize™ Operations™ の エディション	Standard	Standard (追加機能あり)	Standard (追加機能あり)
クラウド API との連携			
VMware Integrated OpenStack			VMware Integrated OpenStack のサポートは別売
製品の機能			
パフォーマンスの監視および分析			
vSphere のパフォーマンスおよび 健全性の監視	○	○	○
自己学習型のパフォーマンス分析 機能と動的なしきい値	○	○	○
根本原因の分析と推奨の提示	○	○	○
運用の視認性と管理性の実現			
予測分析機能とスマート アラート 機能	○	○	○
インテリジェントな運用グループ 機能と柔軟な運用ポリシー	○	○	○
包括的な運用ダッシュボードと レポート機能	○	○	○
ポリシー管理	○	○	○
ガイド付き修正機能	○	○	○
修正の自動化		○	○
キャパシティ管理			
キャパシティの測定、トレンド 分析、適切なサイジングと リソースの最適化	○	○	○
シナリオ、モデリング、アラート、 およびレポート作成	○	○	○
ワークロード管理			
ワークロード バランスの プランニング		○	○
ワークロードの移動	○	○	○
リバランスの実行		○	○
キャパシティ使用率ダッシュボード	○	○	○

エディション	Standard	Enterprise	Enterprise Plus
変更、構成、およびコンプライアンス管理			
vSphere のセキュリティの強化	○	○	○
ビジネス継続性とセキュリティ			
vMotion	○	○	○
High Availability (HA)	○	○	○
vSphere™ Data Protection	○	○	○
マルチプロセッサ フォルト トレランス	仮想 CPU 2 個分	仮想 CPU 2 個分	仮想 CPU 4 個分
vShield™ Endpoint	○	○	○
vSphere Replication™	○		○
Hot Add	○	○	○
Cross-vCenter vMotion			○
Long Distance vMotion			○
リソース割り当ての優先順位とアプリケーション パフォーマンスの向上			
Virtual Volumes™	○	○	○
ポリシー ベースのストレージ管理	○	○	○
Reliable Memory		○	○
Big Data Extensions™		○	○
仮想シリアル ポート コンセント レータ		○	○
Distributed Resources Scheduler™ (DRS) および Distributed Power Management™ (DPM)		○	○
Storage DRS™ および Profile-Driven Storage			○
Storage I/O Control および Network I/O Control			○
Single Root IO Virtualization (SR-IOV) のサポート			○
Flash Read Cache™			○
NVIDIA GRID vGPU			○
管理およびプロビジョニングの自動化			
vSphere APIs for Array Integration および vSphere APIs for Multipathing		○	○
Distributed Switch™			○
コンテンツ ライブラリ	○	○	○ (+ テンプレートによる展開)
ホスト プロファイルおよび Auto Deploy			○

サポートおよびプロフェッショナル サービス

VMware は、すべてのお客様に対し、サポートおよびサブスクリプション (SnS) サービスをグローバルに提供しています。さらにご希望のお客様には、導入を開始するうえでのベスト プラクティスを提供する、コンサルティング サービスも用意しております。

<http://www.vmware.com/jp/consulting>

詳細情報

VMware 製品のご購入または詳細情報については、製品 Web サイトをご覧ください (<http://www.vmware.com/jp/products>)。

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、**vSphere with Operations Management** のドキュメントを参照してください。

